

ひょうごツーリズム戦略（2020-2022年度）取組状況 ＜主な事業の実績紹介（2021年度）＞

I コロナ禍に対応した緊急対策 1

- 1 ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン（観光需要の喚起）
- 2 ひょうご安心旅のプロモーション
 - (1) 「ひょうご安心旅」発信事業
 - (2) 「ひょうご観光塾」の開催
 - (3) 「瀬戸内・ひょうご安心クルーズ」発信事業
- 3 将来を見据えた取組への支援
 - (1) 宿泊事業者事業継続支援事業
 - (2) 観光拠点整備支援事業
 - (3) スキー場設備整備支援事業

II 観光地の魅力向上 5

- 1 周遊・滞在促進に向けた体験型コンテンツの開発とネットワーク化
- 2 ローカルエアーで結ぶ地方観光のネットワーク化事業
- 3 航空事業者と連携した地域課題解決型ツアーの造成促進事業
- 4 ひょうごロケ支援 Net の推進

III 受入環境の整備促進 8

- 1 次世代を担う観光人材の育成
 - (1) 次世代を担う中核観光人材養成事業
 - (2) 地域の魅力に精通した観光ガイドの強化・育成事業
 - (3) 観光産業の人材確保・育成

2 観光地の受入環境整備に対する支援

3 ユニバーサルツーリズムの推進

IV 観光産業の振興 11

1 地域の観光ビジネス創出につながるニューツーリズムの推進

(1) サイクルツーリズムの造成・促進

(2) 欧州・豪州向けゴルフツーリズムの造成・販売促進

2 ひょうごツーリズムバス事業

3 「五つ星ひょうご」プロモーション事業の実施

V プロモーションの強化 13

1 デスティネーションキャンペーンに向けた推進体制の構築等

2 マイクロツーリズムの推進

3 「INFORMATION ひょうご・関西」（伊丹空港）の運営

4 インバウンド回復に向けた効果的な情報発信

(1) 外国人県民による兵庫の魅力発信

(2) インバウンド再開に向けた情報発信事業

(3) 中国向けオンラインプロモーション事業

(4) ツーリスト・インフォメーション・デスクの運営

(5) ひょうご国際観光デスクの運営

5 広域ゲートウェイへのアプローチ

(1) せとうち DM0 への参画

(2) 3府県広域連携等による誘客促進

I コロナ禍に対応した緊急対策

1 ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン（観光需要の喚起）

新型コロナの影響により需要の落ち込んだ県内旅行・宿泊の回復を通じ、地域観光を支援するため、感染状況を見極めつつ、新たな観光需要を喚起

区分	旅行・宿泊代金割引 (ふるさと応援県民割)	クーポン券配布 (ふるさと応援旅クーポン)		
概要	県内旅行・宿泊代金の割引を支援	左記割引を受ける宿泊旅行者に対して旅行期間中に使用可能なクーポン券を配布		
支援金額	旅行・宿泊代金（1人泊）	支援金額	旅行・宿泊代金（1人泊）	クーポン金額
	10,000円以上	5,000円	15,000円以上	2,000円
	8,000円以上10,000円未満	4,000円	10,000円以上15,000円未満	1,000円
	6,000円以上 8,000円未満	3,000円		
	4,000円以上 6,000円未満	2,000円		
対象	兵庫県・京都府・大阪府・鳥取県・岡山県・香川県・徳島県の各府県民			
実施期間	令和3年10月14日～令和4年2月28日（令和4年3月1日チェックアウト分まで） ※令和4年2月2日（水曜日）～全ての旅行が利用停止			

【実績】

(R4.2月末時点)

区分	申込件数	支援対象人数 (人・泊)	旅行・宿泊代金総額 (百万円)	割引支援額 (百万円)
全期間 (10/14～2/1)	233,649	609,530	10,978	2,836
10月宿泊分 (10/14～10/31)	17,210	42,458	690	193
11月宿泊分 (11/1～11/30)	72,873	183,172	3,208	851
12月宿泊分 (12/1～12/31)	97,245	252,773	4,495	1,177
1月宿泊分 (1/1～2/1)	46,321	131,127	2,585	615

※クーポン券配布分は別途



(参考) キャンペーンロゴマーク



(参考) ふるさと応援旅クーポン券

2 ひょうご安心旅のプロモーション

兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合、兵庫県バス協会、神戸旅客船協会と、ひょうご観光本部が連携し、宿泊施設、バス事業者、旅客船事業者が取り組む感染防止対策を見える化し、旅行者向けに「ひょうご安心旅」として発信

(1) 「ひょうご安心旅」発信事業

① 「ひょうご安心旅」ロゴマークの交付

業種ごとの感染拡大防止ガイドラインを踏まえた感染症対策に取り組む宿泊施設、バス事業者、旅客船事業者に、「ひょうご安心旅」ロゴマークを交付

実績	宿泊施設	949施設
(2月末時点)	貸切バス	43社622台
	旅客船	24社60隻



(参考)「ひょうご安心旅」ロゴマーク

② 新聞広告等による「ひょうご安心旅宣言」の発信

「ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン」開始(10月14日)のタイミングに合わせ、新聞広告等により、宿泊施設・観光バス・旅客船の「ひょうご安心旅」を発信

- ・ 広告媒体：神戸新聞、読売新聞
- ・ 期間：10月16日(土) 神戸新聞
10月17日(日) 読売新聞
- ・ 発行部数：神戸新聞約42万部、読売新聞約139万部
- ・ 地域：兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県
和歌山県



(写真)新聞広告

(2) 「ひょうご観光塾」の開催

観光学科と看護学科を有する関西国際大学と連携し、感染予防対策やポストコロナの観光ニーズに関する最新の知見及びインバウンドの回復動向を学ぶ講座を実施

- ・ 実施対象 観光関連事業者、DMO等観光団体、交通事業社、学生等
- ・ 実施内容 ① WEBセミナー(全4回、8~10月)
② 地域ワークショップ 日程：令和4年2月
(オンライン実施) テーマ：ポストコロナの地域観光
定員：30名

[実施内容]

WEBセミナー(全4回、8~10月)

開催日時	テーマ	参加者数
8月23日	ポストコロナの訪日インバウンド観光戦略	80名
8月30日	ポストコロナの団体旅行戦略(感染防止対策等)	55名
9月27日	COVID19 パンデミックの行方~観光業界の衛生管理と対応について	52名
10月4日	先端技術による新しい観光の可能性	45名



参加者合計 232名 (写真)セミナーチラシ

(3) 「瀬戸内・ひょうご安心クルーズ」発信事業

瀬戸内海の海上交通を活かしたポストコロナの誘客促進に向け、感染防止対策を講じたクルーズツアーをモデル実施し、その安全性と船旅ならではの魅力を広く発信

[実施内容]

① モデルツアーの実施

【実施コース】

- ・ 7月21日
神戸港発着 安藤建築めぐり明石海峡大橋クルーズ
- ・ 7月30日
淡路島・小豆島ハイライト日帰りツアー
- ・ 8月17日
夏休み家島巡りと太陽公園日帰りツアー(コロナにより中止)



(写真)PR 動画

② ひょうご安心旅プロモーション動画の作成

- ・モデルツアーの結果を踏まえ作成
- ・ひょうご観光本部、旅客船事業者のHP・SNS等を利用して発信

3 将来を見据えた取組への支援

(1) 宿泊事業者事業継続支援事業

宿泊事業者が感染拡大防止策の強化等に取り組む費用を支援

対象経費	1 感染拡大防止対策に必要となる設備、機器、必需品等の導入に要する経費 2 ワークーション等の受入環境整備、施設改修や非接触チェックインシステムの導入等新たな需要に対応するための取組に要する経費 3 専門家による感染症防止策に係る検証等に要する経費	
補助対象期間	令和2年5月14日～令和4年1月末まで (申請受付期間：令和3年7月15日～11月30日)	
補助対象経費上限	10,000千円	
補助率	大規模施設 (100室以上)	3/5 (国1/2、県1/10、事業者2/5)
	中規模施設 (31～99室)	2/3 (国1/2、県1/6、事業者1/3)
	小規模施設 (1～30室)	3/4 (国1/2、県1/4、事業者1/4)
	※県費による上乗せは制度創設日(6月9日)以降実施分が対象	

- ・ 実績 交付決定件数：644件
交付決定額：2,014,215千円

(2) 観光拠点整備支援事業

観光客の利便性、観光地の魅力の向上など、地域観光の賑わいづくりに資する事業（ホテル・ゲストハウス、工房、レストラン等の整備）を対象に施設の改修費を支援

- ・実績 補助件数 7件

補助対象者	補助率	補助上限
施設等のオーナーや企業、団体及び個人等	3/4（県1/2、市町1/4）	外装・内装・設備改修：24,750千円 耐震改修：5,625千円

[支援事例]

①ダム記念館改修整備（三田市）

旧青野ダム記念館を改修し、アウトドア用品の販売やカヌー等体験サービスを提供する店舗、地産地消カフェを整備



(写真)①店内

②旧酒造場の改修整備（佐用町）

大正期建築の宿泊施設「NIPPONIA平福宿場町」の向かいに位置する旧酒造場を改修し、地元産野菜を提供するレストラン、イートインスペースのある和菓子店が入る複合施設を整備



(写真)②外観

(3) スキー場設備整備支援事業

年間を通じた安定したスキー場の運営に向けて、スキーシーズン及びグリーンシーズンのゲレンデ利用等を見据えた設備導入を支援

- ・補助対象 但馬・播磨地域スキー場の民間運営事業者
- ・対象経費 造雪・降雪設備、グリーンシーズン設備の導入費用（附帯工事費含む）
- ・補助率 補助対象経費の1/2以内（市町随伴1/4期待）
- ・実績 補助件数 10件

[支援事例]

アップかなべスキー場（豊岡市）

少雪時・暖冬時においても安定したスキー場運営を行うため、造雪機の導入を支援



(写真)造雪機

Ⅱ 観光地の魅力向上

1 周遊・滞在促進に向けた体験型コンテンツの開発とネットワーク化

兵庫観光の高付加価値化と観光消費の拡大を図るため、観光協会等と連携し、体験コンテンツ開発、国内外旅行会社による旅行商品化・販売促進を展開

【重点的な募集・支援対象となるテーマ】

重点テーマ	概要
9つの日本遺産	日本遺産ストーリーの現地で今・昔を巡る「歴史体験」滞在
御食国ひょうご	食材を核に産地の風土を味わい生産者と交流する「食文化」滞在
芸術・文化体験	芸術文化の「鑑賞・体験」滞在
六甲山の観光活用	都市山・六甲山の「アクティビティ」滞在
瀬戸内クルーズ	瀬戸内海の豊かな自然と食・文化体験を楽しむ「クルーズ」滞在
ワーケーション	首都圏・大阪等の個人事業主・企業社員の「モバイルワーク」滞在

(1) 観光地の体験コンテンツ開発に対する支援

観光庁補助金を活用し、県内各地の観光協会・民間事業者等から地域資源を活かした体験コンテンツを募集し、ひょうご観光本部とともに磨き上げを実施

- ・実施内容 ①ひょうご観光本部とツーリズムプロデューサーによる現地指導
- ②日本在住外国人を伴うモニターツアー
- ③販売に向けた商談会用観光素材集の作成

【実施内容】

2023年デスティネーションキャンペーン、2025年大阪・関西万博を視野に観光事業者と連携し、体験を重視した『コト』観光ニーズに対応する体験型・周遊滞在型コンテンツを開発

《採択コンテンツ例》

- ・停泊時の観光船を利用した船上レストランの開設
- ・明石漁港のセリ市体験&昼網鮎ツアー
- ・北前船の寄港地・高砂堀川クルーズ
- ・但馬牛のルーツを辿るサイクリング×七釜温泉
- ・平安時代から続く丹波茶 tearism (tea+tourism) 茶摘み体験
- ・世界とつながる淡路島西海岸の「農と食」体験施設を活用したウェルネスツーリズム



(写真)明石漁港のセリ市



(写真)茶摘み体験

(参考) 3年間の造成件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
55件(実績)	32件	20件(予定)	約100件

(2) 旅行会社を活用したツアー商品化・販売促進

国内外の旅行会社において、体験コンテンツと組み合わせたツアー商品化、販売・プロモーションを促進

- ・ファミツアー、商談会の実施：2回
- ・OTAサイトとの提携、コンテンツの掲載：10コンテンツ

2 ローカルエアーで結ぶ地方観光のネットワーク化事業

神戸・伊丹・但馬空港を中核としたローカル to ローカルの旅行市場を活性化するため、国内線就航先DMO等と連携した相互情報発信や旅行商品造成、就航地連携キックオフサミットを開催

[実施内容]

① 青森県との相互誘客

青森県観光連盟と連携し、アンバサダーの相互送客を実施
コロナ収束後の観光需要復活に向け、両県の観光情報を発信

② 鹿児島県との相互誘客

鹿児島県、鹿児島県観光連盟、鹿屋市と連携し、「平和ツーリズム」を掲げて連携を促進

③ 新規連携先の開拓

神戸空港就航先の茨城県（茨城空港）及び長野県（松本空港）に連携を打診

④ 就航地連携観光サミットの開催（オンライン配信）

神戸空港とつながる11就航地の観光団体、航空関係者による、観光地経営ソリューションなどを共有するサミット開催（令和4年2月14日／参加240名）



(写真)鹿児島との連携

3 航空事業者と連携した地域課題解決型ツアーの造成促進事業

社会課題解決や地方創生にチャレンジする航空会社と連携し、観光を活用して、農業・漁業・地場産業など地域の課題解決に向けた取組を体験するツアーを造成・販売

[実施内容]

① 西脇市「播州織が紡ぐ未来への挑戦」

播州織のイノベーションに取り組む若手移住クリエイターとの交流体験など本物に触れ合う旅のコンテンツを造成

(モニターツアー：10月29～31日、11月12日～14日)



(写真)染色体験

② 南あわじ市「体験型宿泊施設に生まれ変わった廃校で学ぶ農漁業の未来」

廃校になった南あわじ市の元小学校を核に、一次産業体験型メニューを小規模団体向けSDGs学習プログラムとしてツアー化

(モニターツアー：10月22～24日、11月19日～21日)



(写真) 沼島一周クルーズ体験

4 ひょうごロケ支援 Net の推進

県内関係機関が連携し、広く情報発信力を持つ映画・テレビドラマ等のロケ誘致を推進するとともに、映画等の撮影地を観光資源として情報発信

- ・設 立：平成18年 8 月
- ・構 成 員：50団体（R4.2月末）県、市町、フィルムコミッション団体 等
- ・実施内容：ロケ地候補発掘、ロケ誘致・支援、市町職員の研修等
- ・撮影実績（作品数）：

年度	映画	TVドラマ	CMその他	合 計
令和元年	3	4	45	52
令和2年	1	1	42	44
令和3年 (2月末)	5	3	6	14
合 計 (H18年～)	76	66	327	469



(写真) R3櫻坂46ミュージックビデオ
ロケ地：淡路夢舞台国際会議場（淡路市）

Ⅲ 受入環境の整備促進

1 次世代を担う観光人材の養成

(1) 次世代を担う中核観光人材養成事業

ポストコロナにおける観光地域づくり人材を養成するため、県内在学・在住の大学生（公募選抜）を対象に、観光プロジェクトへの参画・体験やオンラインセミナーなどを実施

[実施内容]

- ・参加学生：17大学29名
- ・ひょうご観光本部の事業に大学生が参画・体験するとともに、大学生の新たな発想を今後の事業企画・運営に活かす。

時 期	内 容	人 数
7月21日	[瀬戸内海・ひょうご安心旅クルーズ] 瀬戸内海を活かした誘客促進策として企画した新たな旅のスタイルに対応した船旅を体験。感染防止対策を講じたクルーズツアーの 프로모ーション動画にもモデルとして出演	6人
8月5日 ～6日	[西脇市へのフィールドワーク] 播州織のイノベーションに取り組む若手の移住クリエイターが挑戦するものづくりや、地域の未来を考える学習プログラムの体験ツアーのモニターとして参加	12人

(2) 地域の魅力に精通した観光ガイドの強化・育成事業

全国通訳案内士等を対象に地域のストーリーや魅力を伝える旅のプランづくりに取り組む研修を実施するとともに、令和2年度の修了生「ヒトタビHYOGOガイド」が活躍できる仕組みを構築

[実施内容]

- ・加西市、赤穂市において、フィールドワークによる研修を実施
- ・宝塚市、たつの市、丹波篠山市において、昨年度の研修修了者を対象にガイド付きツアーを企画・実施



(写真)PRチラシ



(写真)加西市でのフィールドワーク

地 域	テーマ	対象	参加者
加西市	鶴野飛行場跡地を中心とした平和観光プログラム	新規	15人
赤穂市	塩づくりの地 赤穂を舞台とした歴史・まち歩き	新規	15人
宝塚市 たつの市 丹波篠山	各地域でのガイド付きツアーの企画・実施 (育成ガイドの活躍の仕組みの構築)	令和2年度 修了者	21人

(3) 観光産業の人材確保・育成

観光需要回復の本格化を見据え、旅館・ホテル等の宿泊業で働くことの魅力を伝えることで将来の人材確保につなげるなど、県内の観光人材の確保・育成を目的とした取組を支援

《取組（支援）事例》

- ・PR動画制作とプロモーション
（兵庫県旅館・ホテル生活衛生同業組合）
- ・SNS情報発信スキルアップ研修
（加東市観光協会）



(写真)PR動画「旅館は魔法で溢れている」

(4) 芸術文化観光専門職大学の開学に伴う観光業の再生・活性化に向けた産学官連携事業

芸術文化観光専門職大学とひょうご観光本部が連携し、観光業界を目指す若者向けのセミナーを開催

- ・名称：観光・まちづくりセミナー
- ・日程：令和4年3月12日
- ・対象者：県内高校生
- ・テーマ：専門家プレゼン、但馬観光ワークショップ等

2 観光地の受入環境整備に対する支援

体験コンテンツ開発にあたって必要となるWi-Fi環境、多言語化等の受入環境整備に対して助成

- ・補助対象 Wi-Fi環境、キャッシュレス化、多言語化、翻訳通訳機等
- ・補助上限額 重点テーマ：1,000千円、一般テーマ：500千円
- ・補助率 重点テーマ：2/3、一般テーマ：1/2
- ・助成実績 19団体（2月末現在）

3 ユニバーサルツーリズムの推進

障害者や高齢者など誰もが観光を楽しめるよう、宿泊・観光・移送・福祉サービスのネットワーク化、受入体制の構築、バリアフリー情報の発信等を実施

(1) 地域ネットワークの構築を支援するフォローアップ研修等の実施

UT拠点運営に必要なノウハウ（人材育成・情報発信等）の共有や課題解決に向けて、地域内のネットワークを強化

① 地域内ネットワーク会議の開催

- ・日程：令和3年11月1日／令和4年3月3日
- ・開催地：播磨地域（姫路市）／但馬地域（豊岡市）
- ・対象：18名（ユニバーサルツーリズム支援団体等）

② 山でのヒッポキャンプを利用したモニター体験会「ユニバーサルデイキャンプ・アルプ」の開催

- ・日 程：令和3年10月11日
- ・開催地：たじま高原植物園（香美町）
- ・対 象：25名（観光、福祉、大学関係者 等）

③ 動画による情報発信

播磨地域の観光地（姫路城・家島等）の魅力紹介及び、車いすでのアクセス方法等を盛り込んだユニバーサルツーリズム視点での楽しみ方を紹介する動画を制作・発信

④ UT 推進連絡会の開催

- ・日 程：令和4年3月23日
- ・開催地：オンライン開催
- ・対 象：ユニバーサルツーリズム支援団体 等

(2) ユニバーサルツーリズムマップの作成

バリアフリー施設情報等を掲載したまち歩きマップを作成

- ・対象地域：阪神地域（宝塚市）
- ・発信方法：県観光公式サイト「ひょうごナビ」掲載

(3) WEB 掲載情報の充実

観光施設のバリアフリー情報やモデルコースを追加する等、UT ページの情報を充実化

(4) 検討会の開催

観光地におけるソフト面の内容充実や持続可能なユニバーサルツーリズムの定着を図るため、学識、旅行サービス提供者・利用者から構成する検討会を設置し、今後の方策等を検討

- ・開催回数：3回（令和3年11月18日／12月13日／令和4年1月17日）

IV 観光産業の振興

1 地域の観光ビジネス創出につながるニューツーリズムの推進

(1) サイクルツーリズムの造成・促進

e-BIKE(スポーツタイプの電動アシスト自転車)を活用し、里山・宿場町・棚田・海岸線等の日本的風景や、地域の文化・産業・食を体験しながら観光地を巡るサイクルツーリズムを創出

[実施内容] (サイクルガイドの養成)

サイクリングガイドを発掘・育成するために、令和2年度に造成した県内6カ所のサイクリングコースを活用し「サイクリングガイド養成講座」を開催

① ワークショップ 定員各25名

10月 但馬(豊岡市内) 11月 播磨(姫路市内)
12月 神戸

② 実地研修(実走行トライアル) 定員各5名

但馬地域10月13日 香住～餘部 鉄道遺跡コース
播磨地域11月25日 竜野～相生 瀬戸内海岸コース
丹波地域12月2日 丹波篠山 田園風景コース
阪神地域12月8日 西谷地区 原風景コース
淡路地域12月9日 長澤～伊弉諾神宮コース



(写真)講座募集のチラシ

(2) 欧州・豪州向けゴルフツーリズムの造成・販売促進

質・量ともに国内有数のゴルフ場を有する強みを活かし、県内ゴルフ場を中心に体験コンテンツを組み合わせた旅行商品の販売を促進

・実施内容 ファムトリップ、WEBサイト構築・強化

[実施内容]

① 季節に応じた12のサンプルコースの造成

一年を通して季節に応じた、兵庫ならではの数々魅力的な体験を含むゴルフと産業体験を組み合わせた12のサンプルコースを造成

(各月のプランテーマ)

月	地域	テーマ
4月	播磨	食をテーマに日本文化を満喫
5月	播磨	世界に愛される日本酒文化に触れる旅
6月	播磨	日本文化体験(座禅・紙漉き・茶道)
7月	淡路	海の自然と伝統芸能に触れる旅
8月	播磨、但馬	日本ならではの温泉旅
9月	播磨、但馬	和牛のルーツを探る旅
10月	播磨	日本の秋祭りと姫路城
11月	播磨	侍の世から引き継がれる匠の技に触れる
12月	播磨、神戸・阪神	地元の料理に舌鼓、地元の人が通う名店探索
1月	播磨	日本の冬を体験する旅
2月	神戸・阪神	パティシエと職人直伝のお菓子作り体験
3月	播磨	ゴルフと自然散策・ローカル鉄道の旅

② 国内外に向けた商談会(コロナの影響により中止)

③ ゴルフツーリズムの商品を紹介するWEBサイトを構築

2 ひょうごツーリズムバス事業

県内の多彩なツーリズム資源を生かして、学習・体験・交流を目的とした県外からの来訪客の誘客を促進するため、バスの借上料を支援

- ・補助額（宿泊）30,000円/台（日帰り）15,000円/台
- ・補助台数 1,950台
- ・補助実績 669台（うち修学旅行303台）（2月末現在）

3 「五つ星ひょうご」プロモーション事業の実施

兵庫県の観光特産品のブランドイメージを定着させ、全国に向け魅力を発信するため、優れた特産品を「五つ星ひょうご」として広く紹介

(1) 「五つ星ひょうご」の選定

選定商品数(H24～R2) 715商品（食品605、工芸品等110）

- ・募集期間：令和3年8月2日～9月30日
- ・選定委員会：11月24日
- ・内覧即売会：令和4年3月25日



(参考)五つ星ひょうごロゴ

※ブランド全体の質の向上を図るため、選定次年度から5年を過ぎた商品について登録更新制度を導入

(2) 県内外での「五つ星ひょうご」のプロモーション（主な取組）

ア 販路拡大

- ・スーパーマーケットトレードショー（令和4年2月16～18日/23社出展）
- ・マックスバリュウ西日本との商談会（9月14日、23社出展）
- ・Food Style kansai への出展（5月25～27日、16社出展）

イ 認知度向上

- ・「五つ星ひょうご marché le Soleil」の開設（神戸国際会館地下2階・令和3年9月4日～）
- ・イオンスタイル伊丹店でのフェア開催（令和3年9月23日/7社・ふるさと館出展）
- ・JR新神戸駅、神戸空港での販売



(写真)「五つ星ひょうご
marché le Soleil」

V プロモーションの強化

1 デスティネーションキャンペーンに向けた推進体制の構築等

JRグループ 6社とタイアップして実施する、全国最大規模の観光誘客キャンペーン「2023兵庫デスティネーションキャンペーン(DC)」開催に向け、推進体制等を構築

【スケジュール】

年度	時期	主要事業
令和3年度 (2021年)	4月～	・DC推進協議会の設立総会(12月17日) ・五国の観光コンテンツ募集・商品化等
令和4年度 (2022年)	夏(7-9月)	・プレキャンペーン(JR西日本と実施) ・全国宣伝販売促進会議(本キャンペーンに向けた旅行商談会)
令和5年度 (2023年)	夏(7-9月)	・本キャンペーン(JR6社と実施)

(1) 推進体制

組織	内容
兵庫DC推進協議会(12月～) (事務局：ひょうご観光本部内)	・設立総会開催(12月17日) 【構成】市町、経済、観光・交通、飲食・農業、報道
地域推進協議会(7月～) (事務局：県民局・県民センター)	・事業企画、調整、推進の実施 【構成】市町、商工団体、観光協会、交通事業者、JA等
アドバイザーボード(9名) (7月～) (事務局：ひょうご観光本部)	・各部会、全体会 全4回開催 ・座長：ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサー 【構成】観光・食・広報の民間専門家

(2) 五国モニタリングツアーの実施

観光素材発掘・ブランシュアップに向け、アドバイザーボード等を招聘したモニタリングツアーを実施

地域	期間	内容
淡路	7月28日～30日	伊弉諾神宮、沼島、春陽荘、淡路人形浄瑠璃等
但馬	10月13日～14日	但馬牧場公園、上山高原ふるさと館、湯村温泉等
丹波	11月9日	丹波焼蔵元、篠山城大書院、地元酒造等
播磨	11月10日	酒米試験場、神戸層群の地層、地元酒造等
阪神	12月13日	すまうら水産、セリ市特別見学、菊正宗酒造記念館等

(3) プロモーション素材の制作・発信

① 県民・県内企業の機運醸成に向けたタブロイドの作成・発行

DCに向け、県民・産業総参加の機運醸成を図るため、DC採択テーマを元にタブロイド作成・発行(約40万部)

② WEBサイト「私の感動、その先へ。兵庫テロワール旅」制作

御食国・兵庫五国の食・体験が織りなすテロワール旅を紹介する総合情報発信サイトを制作(令和4年2月～)

③ オンライン研究所「テロワールlab.」立ち上げ

兵庫DCへの県民・訪問者参画のツールとして、県民が旅行者にお勧めしたい観光スポット・グルメ・伝統文化・地場産業等を投稿するInstagramを開設(令和4年2月～)

2 マイクロツーリズムの推進

密を避けながら近場を楽しむマイクロツーリズムを推進

(1) 公式観光ガイドブック「あいたい兵庫ガイドブック」の発行年2回)

- ・発行部数 春夏号「兵庫おとなの遠足」
(3月発行13万部)
秋冬号「おいしいひょうごがすき」
(10月発行10万部)
- ・内 容 訴求力のあるテーマを設定し、
関連の観光スポットを魅力的に
組み合わせた特集を組んで発信
- ・配布場所 JR西日本主要駅、県内道の駅、
DMO/観光協会、市町、県民局等
- ・WEBサイト ひょうご観光本部公式ウェブサイト



(写真) 春夏号表



(写真) 秋冬号表

(2) 若年女性向け情報誌の発行

ガイドブック秋冬号『おいしいひょうごがすき』発行にあわせ、雑誌社とのコラボ企画により、地元の“食”を主軸に五国の歴史・文化を巡る旅を発信

- ・発行部数 「やっぱりすき！神戸」9月発行17万部
- ・販売場所 京阪神を中心に全国の書店・コンビニ等で販売



(写真) 雑誌表紙

(3) 地元バスガイドによる口コミ情報の発信

兵庫を熟知する地元バス会社のバスガイドが「知る人ぞ知る観光地」や「とっておきの土産物」など口コミ情報を「ひょうごナビ」やSNSなどを活用し発信

- ・件 数 サイトアクセス数：約3.2万回
Twitter インプレッション数：約2万回



(写真) 参加バスガイド

(4) 『心に残った兵庫の体験』をテーマにした SNS 発信

インフルエンサーが、ひょうご観光本部が造成した体験コンテンツを実際に体験する YouTube を制作・発信

- ・体験例：「杉玉づくり」、「つりしのぶづくり」、
「福づくり（えびすしまだ）」



(写真) 動画トップ

5 「INFORMATION ひょうご・関西」(伊丹空港)の運営

伊丹空港において、常設の「INFORMATION ひょうご・関西」を運営し、県観光・物産情報等を発信

- ・設置場所：伊丹空港ターミナルビル2階到着口正面付近
- ・開 設：平成30年4月、令和2年11月21日リニューアル
- ・開設時間：6:30～21:00 (有人対応は8:30～19:00)
- ・取組内容：
 - ・専任スタッフによる観光情報案内



(写真) 「INFORMATION ひょうご・関西」正面入口

- ・ひょうご特産品自動販売機
 - ・タッチパネル式電子案内板による観光案内
 - ・大型デジタルサイネージによる観光動画PR
 - ・VRを活用した五国の疑似観光体験提供
 - ・タブレット端末・ポケトークによる多言語観光案内
- [来場者数]115,893人 (H30.4~R4.1月末)

6 インバウンド回復に向けた効果的な情報発信

(1) インバウンド再開に向けた情報発信事業

外国人が日本旅行の検討時によく利用するJNTO(日本政府観光局)の多言語Webマガジン「JAPAN Monthly Web Magazine」を通じ、欧米豪・アジアに広く観光情報を発信

- ・実施内容 外国人目線による記事制作・発信 (英語、中国語、韓国語)
- ・発信回数 3回

(2) JNTOを活用したインバウンド発信力強化事業

ひょうご観光本部の多言語観光サイト「Another Hyogo」リニューアルに向け、日本観光の海外広報等を担うJNTO(日本政府観光局)の知見を活かしたコンサルティングを実施

- ・実施内容 県内観光資源にかかる記事(3本)制作
アクセス状況の分析・検証

(3) 中国向けオンラインプロモーション事業

国別訪問者数が最大の中国市場に対し、「WeChat」「Weibo」を活用したオンラインプロモーションを実施

- ・実施内容 オリジナル記事の制作・配信、バナー広告を活用したPR
- ・兵庫県公式アカウントのフォロワー数(2月末時点)
Wechat: 24,348人、Weibo: 43,530人

(4) ツーリスト・インフォメーション・デスクの運営

海外市場への観光プロモーションを行う専門員を配置し、外国語による観光相談の対応やFacebook等のSNSを活用したプロモーション、海外旅行エージェント等による県内招聘取材のアテンド等を実施

- ・配置人数 4人(英語、中国語、韓国語、仏語)
- ・SNS発信件数 1,291件(2月末現在)
- ・発信例 兵庫県の観光情報をFacebookにて
日本語、英語、中国語、韓国語、仏語
で発信



(写真) Facebook 情報発信

(5) ひょうご国際観光デスクの運営

東アジア等のリピーター市場において、現地の旅行エージェント等のネットワーク・ノウハウを活用した観光デスクを設置

- ・設置国・地域 韓国、台湾、香港、タイ
- ・実施内容
 - ① 新型コロナウイルス感染症関連の情報収集
 - ② SNS・HP等による情報発信
 - ③ 現地メディア・旅行エージェントへのPR等

7 広域ゲートウェイへのアプローチ

(1) せとうちDMOへの参画

瀬戸内地域7県（兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県）及び民間事業者で構成されるDMO（一社）せとうち観光推進機構における広域連携に参画し、インバウンド誘客（欧米豪）を促進

[実施内容]

- ・独自オウンドメディア「SETOUCHI REFLECTION TRIP」による多言語情報発信、「瀬戸内Finder」による国内向け情報発信
（欧米豪メディア掲載実績53件、機構所有SNS（Instagram、Facebook）10件）
- ・現地エージェンシーを活用した海外市場別プロモーション
- ・瀬戸内の魅力（クルーズ・食・サイクリング・アート等）を活かした観光商品の造成
（国内向けコンテンツ開発：5件）

(2) 3府県広域連携等による誘客促進

兵庫・京都・鳥取の3府県が連携し、山陰海岸ジオパークを中心とした広域観光交流圏への誘客を促進

[実施内容]

- ・令和3年10月～令和4年2月
- ・海外の有力旅行雑誌「National Geographic Traveller UK」への山陰海岸ジオパークの記事掲載
- ・関西観光本部と連携した国内取材ツアーの企画・発信